

サステナビリティ・マネジメント

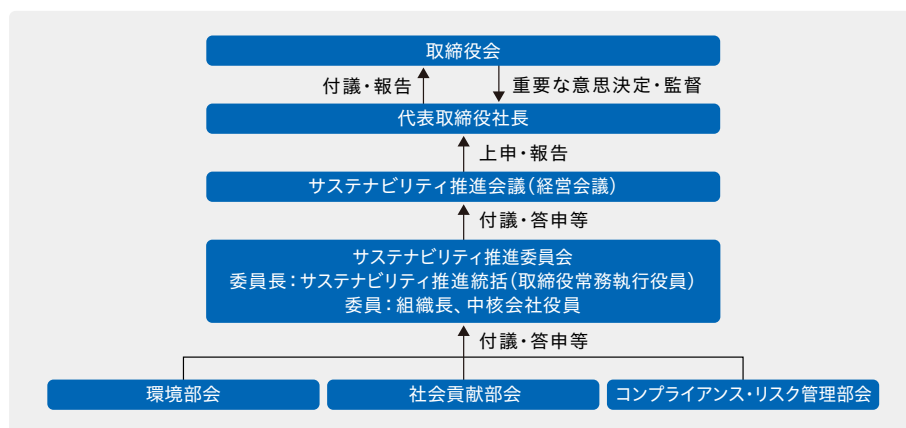
サステナビリティ推進体制とガバナンス

Daigasグループでは、サステナビリティ活動を統括する役員である「サステナビリティ※推進統括」（取締役常務執行役員）を委員長とし、関連する組織長等を委員とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、組織横断的にサステナビリティ活動の調整・推進を行っています。サステナビリティ経営における重要課題（マテリアリティ）と指標および目標の設定、実績状況等については、「サステナビリティ推進会議」にも上程し、審議を実施しています。そのうえで、サステナビリティ活動の重要な事項（ESGに関するリスクを含む）を取締役に諮り、意思決定ならびに監督を行っています。

また、「環境部会」「社会貢献部会」「コンプライアンス・リスク管理部会」の会議体を設置し、連携を図りながらサステナビリティ活動を推進しています。

※2025年4月1日付の機構改正にともない名称を変更

■ サステナビリティ推進体制（2025年4月1日現在）

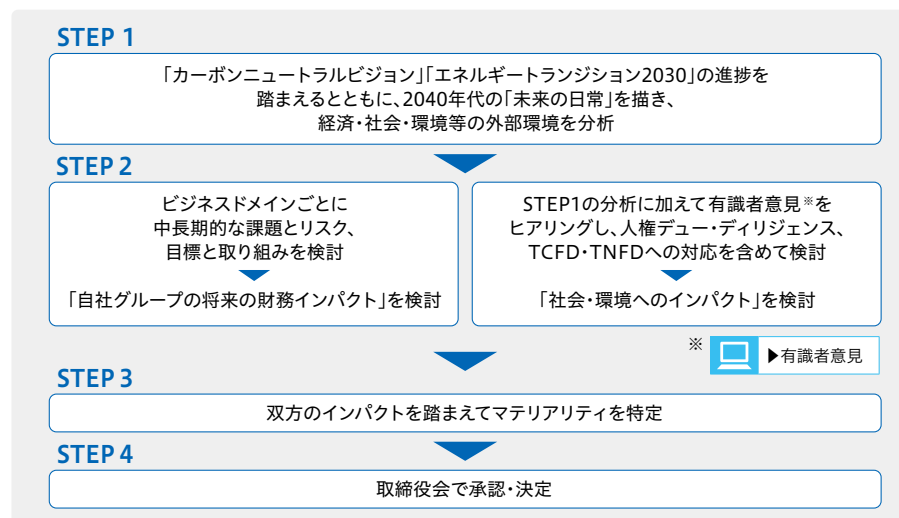


2024年度 取締役会でのサステナビリティ関連の主な議題

- 2024年 5月 2023年度サステナビリティ指標実績報告、人権デュー・ディリジェンス報告
- 2024年11月 2024年度サステナビリティ指標上期実績報告
- 2025年 3月 2024年度サステナビリティ指標実績見込み報告、2025年度サステナビリティ指標と事業計画、グループ規程・方針等の改定

マテリアリティの特定

Daigasグループは「中期経営計画2026」策定に際して、気候変動対策の進捗状況や事業環境の変化、サステナビリティ関連の社会動向を勘案し、有識者の意見等を踏まえて、マテリアリティの特定を実施しました。



特定したマテリアリティ

- 1 エネルギーのカーボンニュートラル化
- 2 お客さまと社会のレジリエンス向上
- 3 お客さまの価値観に寄り添う先進的で多様なソリューションの共創
- 4 従業員と企業が共鳴し高め合う環境づくり
- 5 健全でしなやかな経営基盤の維持・向上

KPI実績評価プロセス

サステナビリティ指標に関する取り組みについて、年に3回、サステナビリティ推進体制の各会議で報告・フォローを行い、取締役会にて評価と監督をしています。取締役会では、順調に進捗している取り組みについては、中長期で設定している目標が妥当かどうかの議論等が行われています。また、目標達成が困難な指標については、その要因や解決策について議論が行われています。これらの評価プロセスを通じて、マテリアリティにかかわる各事業の取り組みの改善や計画の見直しにつなげています。